

ほろにが

平成31年3月15日
全国卸売酒販組合中央会

「剣道とゴルフ」

北九州支部長 今泉 三千俊

文章を書くのは苦手の方である。

年に1回だけの「ほろにが」への投稿ですが、文才のない身には少しばかり負担になっているように感じています。

子供のころ、作文を書くときに何を書けばいいのか頭にテーマが浮かんでこない。迷いに迷って時間だけが過ぎて行き、気持ちに焦りが出てくる。大概は何とか期限内に帳尻を合わせて事なきを得ていたように思う。

先月、戸田四国支部長の「ほろにが」への投稿文を読ませて頂き、来月は自分の番だと覚悟を決めて、早めに取りかからねばと思いつつズルズルと締切日が来てしまいました。

さて何を書けばいいのか？なかなか思い浮かばない。

業界のことが良いに決まっていると思いますが、色々な視点で酒類業界の問題点や、健全な業界の在り方など今まで多くの委員の皆さんが書いておられるし、特に公正な取引に関することは沢山取り上げられているしなあ、などと考えている内に時間切れになりそうなので、自分に書けそうなことを思うままに書いてみることにしました。

私には、趣味というか、好きなことが幾つかあります。本はよく読む方だと思います。歴史物とか時代小説が多いですね。（結構自分の考え方に影響しているかもしれません。）

健康を維持して行くには体を動かし血行を良くすることが大切なので運動系の趣味として剣道とゴルフを楽しんでいます。(苦しんでもいますけど。剣道は指導者としての立場があり責任もあります。)

今年の「ほろにが」ではオリンピックが終わったばかりだったので、一流のスポーツ選手の動きの美しさや、スポーツマンシップ・・・武道では礼儀・・・などについて少し触れましたが、思いつくまま内容を広げて見ようかと思いません。

剣道の竹刀の持ち方は、左手の小指、薬指、中指で包むようにしっかりと握り、人差し指と親指は添えるイメージで握ります。右手は同様に握りますが左手より軽く竹刀を支えるように握ります。その時の親指と人差し指で出来るV字は右手と左手は同じ方向を向いています。ゴルフでのグリップと通じるところがありますね。

剣道もゴルフも「構え」は大切です。構えが悪ければ剣道では竹刀(木刀、刀)を正しく振ることが出来ません。ゴルフにおいても理にかなったスイングはできないと言われています。剣道の構えは左手と体との間は一拳から一拳半くらいです。そして剣先の(一足一刀の間合いで)延長線が相手の左目と喉の中心あたりを指すように構えます。

ゴルフはやはり左グリップと体の距離が一握りから一握り半くらいですね。そして肩幅くらいのスタンスで飛球線に並行に構えるよう教えられました。やはり共通点がありますね。

さて、ここで最も重要でなかなか会得できないことがあります。

剣道では「上虚下実」という教えがあります。構えたときに上体は力みがなく両腕は肘に少しゆとりを持たせます。一方腰から足の先まではしっかりと安定した状態にすることです。

この構えがあって打突の機会を捉えたとき瞬時に技が繰り出せるのです。ゴルフも上体は柔らかく、両腕の肘に余裕を持っていますし下半身はどっしりとして足の裏で地面をしっかりと捉える構えを指導されます。そうでないとリズム良く正確にクラブは振れないはずですよ。

私の趣味である剣道とゴルフの共通点をいろいろ書きましたが退屈されたのではないかと少々心配しています。が、もう少しお付き合いください。

剣道とゴルフの共通点でもう一つ申し上げたいのは礼節です。

剣道から礼儀と節度を除けば竹刀で相手を叩くだけの野蛮な物になってしまいます。

剣道の厳しい稽古によって自分を成長させていかねばなりません。自己修養の道です。

敬意と感謝の心を持って稽古や試合の相手に対しなければなりません。

剣道の試合で有効打突を打つことができ審判が一本判定してもガッツポーズをすればその一本は取り消しとなります。相手にたいして失礼な行為だからです。剣道の精神から大きく外れていると判断されるのです。

ゴルフは自然のなかでルールに基づいてプレーします。ジェントルマンのスポーツです。他人が見ていないからといって、打ちやすいところにボールを動すなど、ルールに反する行為はだめですね。自然というコースと自分との闘いでもありますね。

フェアプレーはその人の人間性を教えてくれます。

礼節を尊び、フェアプレーで生きて行きたいと思っています。

最近の日本社会は法に触れなければ何をしてもいいとか、ネットでは匿名で発信される無責任な情報が溢れ平気で他人を傷つけることが横行しています。

日本人の良さが失われないよう社会全体で考えて行かねばならないと思います。

終わりに、私の好きな剣道の教えの一つを書きます。

「打って反省、打たれて感謝」駄文を読んで頂き有難うございます。